

DACのクリーンCO₂を日本の産業界へ

～ Global Thermostat Japan 創業メンバーが新たに取り組む CO₂供給サービス事業 ～

DAC-CO₂ Supply:

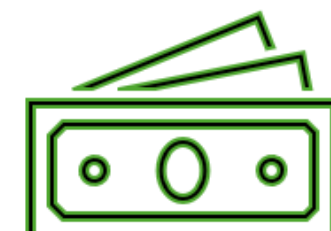
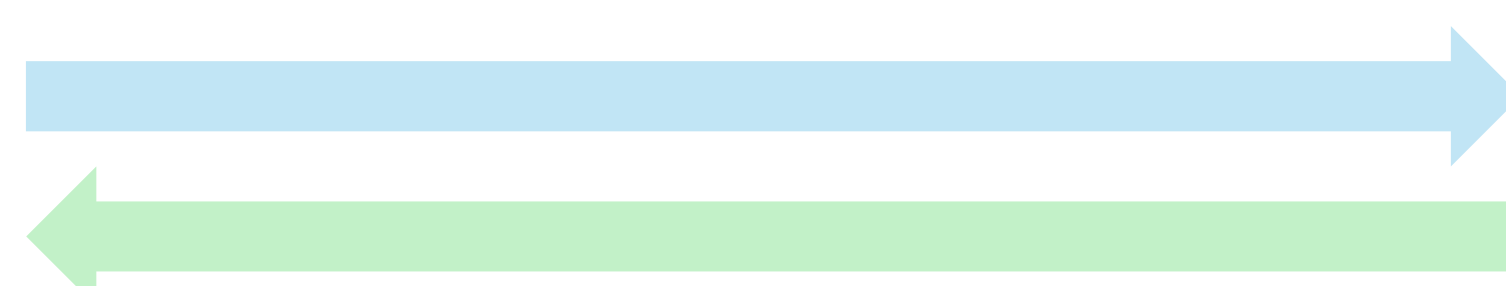
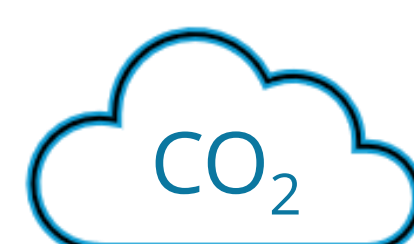
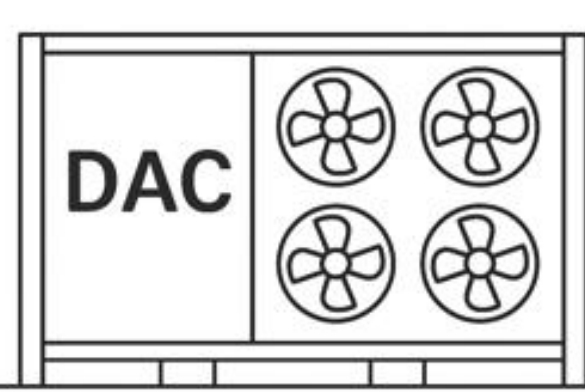
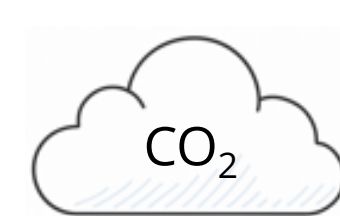
必要な場所にオンサイトでDACを設置・運用し、CO₂を供給する新サービス

【會澤高圧コンクリートにおける導入イメージ】

特徴 2

DAC由来のクリーンCO₂確保 & プレミアムカーボンクレジット創出も期待

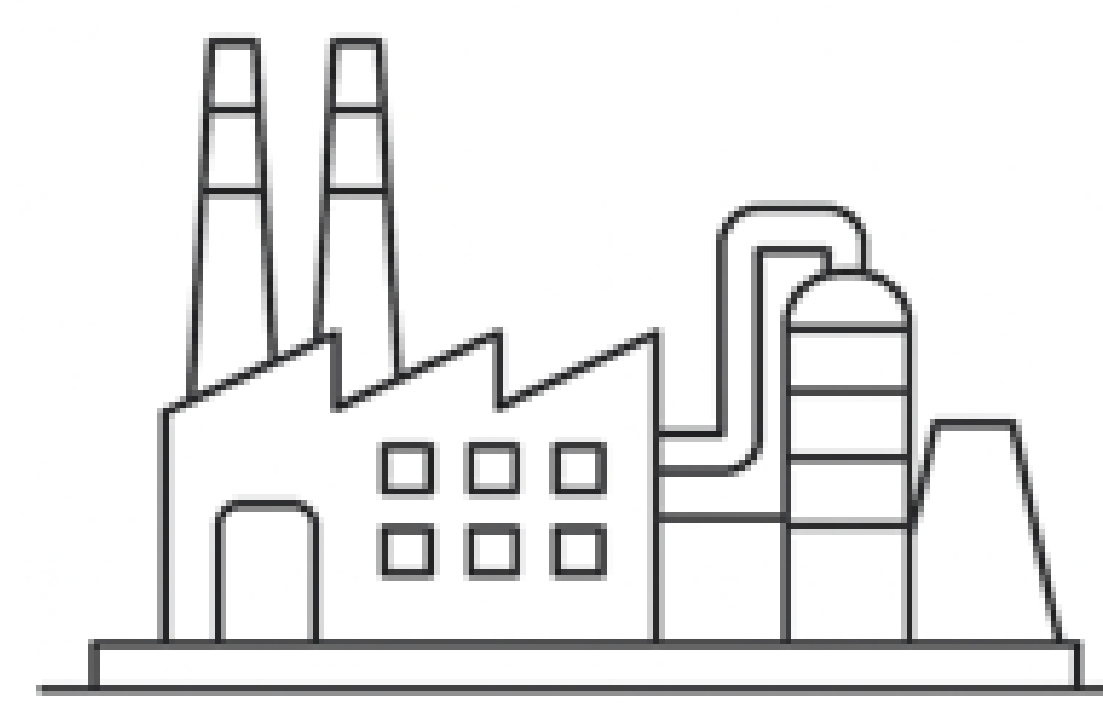
Carbonity
コンクリート工場における
DACの保有・運用



利用CO₂量分の支払い

AIZAWA

CO₂のコンクリート固定化・
カーボンオフセット



特徴 1

顧客サイトに設置することで、
輸送コスト・輸送時CO₂排出はゼロ

特徴 3

初期費用ゼロ &
技術革新によりCO₂料金は今後さらに低減

Our Partner: DACLAB

DAC LAB

Rebooting the DAC industry with cost-effective products

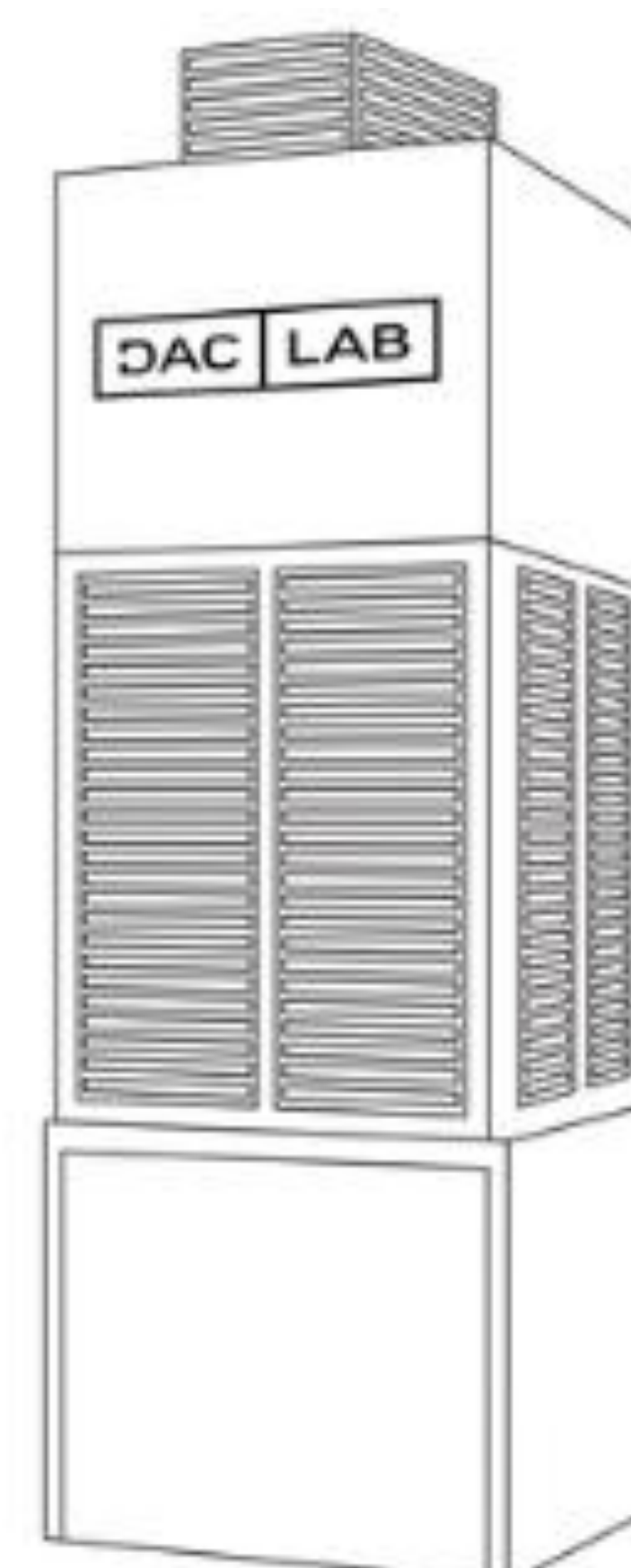
DACLabが特許を保有する「Kelvinシリーズ」は、2014年からShell 社とウィーン工科大学での4年間にわたるPoint Source Capture 共同研究開発の実績をもとに生み出された、超省エネかつ量産可能な業界最先端のDAC装置です。



APU-1
50 ton/ year pilot



Kelvin POD
100 ton/ year product



Kelvin Module
2026 product launch

- エネルギー効率: DACの最適条件下において、回収CO₂1トンあたり合計1,500～1,800 kWhの消費
- 低メンテナンス: 吸着剤の交換は運転状況に応じて3-5年に一回のみ
- 低温再生: 約70～80℃の低温再生プロセスにより、廃熱の有効利用が可能
- 実証実績: -10℃から38℃の広範な温度環境下でプロセス稼働試験を完了
- 供給網の構築: e-fuel製造およびCCSプロジェクトに向け、欧州・アジアにおけるサプライチェーンを確立

お問い合わせ: info@carbonity.jp